

■ 親と子の都市と建築教室 2019（第 19 回）（大阪会場） 活動レポート

<安心・安全な未来のまちをつくろう！>

日時：1 日目 2019 年 8 月 3 日（土）13：00～17：30

2 日目 2019 年 8 月 4 日（日）10：30～16：30

会場：大阪市立住まい情報センター 3 階ホール

大阪市立住まい情報センター、大阪府建築士会および当支部の 3 団体による共催行事として、子どもたちが設計者となり、親と一緒にダンボールや紙パイプを用いて「まち」をつくるワークショップが開催された。19 回目の開催となる今年は 1 日目の参加者が 48 名（うち、小学生 28 名）、学生スタッフ 56 名、2 日目の参加者が 54 名（うち、小学生 30 名）、学生スタッフ 64 名であった。

1 日目は、今回のテーマとなる「安心・安全な未来のまち」について、学生スタッフによるプレゼン、寸劇やクイズを通じて学び、4 つのチームに分かれて各チームのテーマに従って作りたい建物やまちのイメージを各自でスケッチにした後、親と学生スタッフとで協力しながらダンボールでまちを製作した。2 日目は、午前から作業を開始して、最終的に子どもたちの想像力を具現化した「まち」をホールいっぱいにつくり上げた。子どもたち全員が自分の作品についてプレゼンをしたあと、チームごとに「まちつくグッドデザイン賞」「ええチームで賞」「あんじゅで賞」「ノーベルまちつく賞」の各賞および「令和の未来大賞」が 1 チームに贈られ、各賞のシールと缶バッジの記念品を贈呈した。

ホールには親と子のにぎやかなやりとりがみられ、「まち」を作る楽しさとともに、多くの学びと経験を得た 2 日間となった。4 月から打ち合わせを重ねて「まちつく」の成功にご尽力いただいた、住まい情報センターと大阪府建築士会の関係各位、学生スタッフには、心より感謝申し上げます。

安福健祐、神澤宏明、西影武知／近畿支部常議員



完成した「まち」と集合写真